

第8回 病理夏の学校 in 山形

2015年8月29(土)～30日(日)

病理夏の学校は医学生、初期研修医を対象にして病理の魅力と重要性を伝える目的で2002年から開催されています。

病理医の日常業務や臨床医との連携についての講演、そして学生、研修医主体でのCPC発表や懇親会。

2日間という短い時間に盛り沢山の内容が詰め込まれています。



当講座からは、病理専門医の喜古先生が病理専門医へのパスに関して講演しました。全国の病理専門医は2015年4月の時点で2232人。東北地区では174人と非常に少ない希少な存在です。絶滅危惧種のジャイアントパンダの数が1600～2200頭といわれていますのでいかに病理専門医が少ないかがわかります。



若手病理医からのメッセージと題して、専攻医の金居、村上也講演しました。

専攻医の実際の業務や収入など病理医を目指している学生、研修医の知りたいことをお伝えできたのではないのでしょうか。

懇親会も大盛況！寝食を共にして他大学同士の交流も深まります！

